



< 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会の主な活動 >

- ・ 都市農村交流の情報発信
- ・ 都市農村交流に係る人材育成や連携強化など受入体制の整備
- ・ 旅行会社と連携した体験ツアー等の実施
- ・ 移住・定住部局や観光部局との連携やインバウンド対策への対応
- ・ 農泊相談窓口の設置
- ・ 地域の農業者等と連携する農村宿泊施設への支援

(3) 県負担・補助率の考え方

**補助率** 定額：6,500 千円／年

県内全域を対象とした活動を支援するため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	6,500	都市農村交流推進組織運営費
合計	6,500	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画

(2) 後年度の財政負担

ぎふ農業・農村基本計画の計画期間である R7 まで実施する。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	都市農村交流推進事業費補助金
補助事業者（団体）	「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会 （理由）県下全域でグリーン・ツーリズムの推進に取り組む唯一の団体であるため
補助事業の概要	（目的）岐阜県内の農村地域における都市農村交流を促進し、インバウンドを含めた都市住民等の体験者や岐阜県への移住者、新規就農者の増加を図る。 （内容）県内全域を対象とした都市農村交流活動推進に係る経費の助成
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）10/10：上限 6,500 千円 （理由）県施策の推進を図るため、必要相当額を助成する。
補助効果	・岐阜県における農林漁業体験者数の増加 ・岐阜県への移住者、就農者の増加
終期の設定	終期令和 7 年度 （理由） ※ぎふ農業・農村基本計画の計画期間において令和 7 年度末までの目標を設定。

### （事業目標）

岐阜県における農林漁業体験を中心とした都市農村交流体験者や移住者などが増加することにより、県内農村地域の活性化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① 農林漁業体験者数 (ぎふ農業・農村基本計画)	—	260 千人	300 千人

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	3,500 千円	3,500 千円	6,500 千円	(予算額) 6,500 千円	(要求額) 6,500 千円
指標①目標	162 千人	168 千人	174 千人	180 千人	260 千人
指標①実績	209 千人	211 千人	214 千人	(推計値) 調査中	(推計値) —
指標①達成率	129%	125%	122%	(推計値) — %	(推計値) — %

(前年度の成果)

「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会への活動支援により、岐阜県のグリーン・ツーリズムの情報発信や会員の交流、研修会、農泊窓口設置等による受入体制の整備が図られた。

(今後の課題)

ぎふグリーン・ツーリズムの情報発信や、観光、移住定住施策との連携の強化が必要。  
また、インバウンドや農泊ビジネスへの対応が求められている。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）  
○：必要性が高い      △：必要性が低い

(評価)      都市住民の農村地域での交流人口増や、移住定住の促進が図られるため事業の必要性が高い。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  
○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている  
△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)      ○      グリーン・ツーリズムの推進を民間団体と連携することにより、現場のニーズに合った支援が実施されている。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  
○：効率化は図られている      △：向上の余地がある

(評価)      ○      民間団体と連携してグリーン・ツーリズム推進の取組みを効率的に実施している。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)

--